

# Shin

2024.4

vol. **24**

特集

## 伝えるためのユニバーサルデザインフェア ～色・文字・かたちでみんなに分かりやすく～ 〈MUDフェア レポート **後編**〉

CSR 認定企業紹介

愛知 **マルワ**

十年を経てワンスターからスリースターへ  
「環境といえばマルワ」と呼ばれるまでの軌跡

CSR トピックス

厚生労働省、育児休業の目標設定・公表を義務化

京大、26年度から理工系に女子枠

第17回 MUD コンペティションで大阪シーリング印刷が経済産業大臣賞

日本 WPA、カーボンオフセット量の累計が1万トン超える

武田薬品、二次包装の印刷を特色から CMYK インキに

ロフト、有料買い物袋を紙製に全面切り替え

スーパー大手など非正規待遇の改善を進める

大日本印刷、オンライン障がい者コミュニティを社内に開設

奥村印刷、折り紙食器で能登半島地震の被災者支援

# 伝えるためのユニバーサルデザインフェア

色・文字・かたちでみんなに分かりやすく

## 〈MUDフェアレポート 後編〉

全印工連が情報アクセシビリティの向上に貢献するため、約20年前から取り組んできたメディア・ユニバーサルデザイン（MUD）。2008年1月には特定非営利活動法人メディア・ユニバーサルデザイン協会（MUD協会）を設立しました。MUD協会設立15年目の節目となる2023年、誰もが情報にアクセスしやすい社会をさらに目指して、2023年8月18日から20日の3日間、「伝えるためのユニバーサルデザインフェア」色・文字・かたちでみんなに分かりやすく（以下MUDフェアとします）が全印工連とMUD協会の共同主催により開催されました。

前号掲載のMUDフェアレポート前編では、MUDフェアの概要や展示コーナーの詳細、8月18日、19日に行われたセミナープログラムの模様をお伝えしました。今回はMUDフェアレポート後編として、体験コーナーの様子や8月20日に行われたセミナープログラムの内容をお伝えします。

### MUDを体験して学ぶ

MUDフェアが開催された東京都立産業貿易センター浜松町館のメイン会場では、展示コーナーの最後にMUDに触れる体験コーナーが設置されました。

晴眼者もカタカナとして読むことができる

新しい点字「ブレイルノイエ」を使って点字の名刺を作ることができるコーナーでは、筆者も名刺作りにトライしました。以前点字を打った際には左右逆に打つのが難しかった記憶があるのですが、「ブレイルノイエ」は先



カタチだけで伝えてみよう！ ～ユニバーサルな標識デザインワークショップ～

特集◎伝えるためのユニバーサルデザインフェア ~色・文字・かたちでみんなに分かりやすく~  
 (MUD フェア リポート 後編)



点字体験の様子

端が凹状になった点字器を利用することにより、見たまま打つことができるので簡単。点字をカタカナになるよう鉛筆で囲み、点字としてもカタカナとしても読める名刺を完成させることができました。

ピクトグラムや標識を学べる「ユニバーサルデザインかるた」(通称「ユニかる」)で遊ぶことができるコーナーには、夏休みということもあり小学生のお子さんが挑戦する姿も見られました。ユニかるの絵札は、非常口マークやマタニティマークなど、意味を理解しているピクトグラムがほとんどでしたが、中にはうさぎマークなど知らないものもあり、勉強になりました(ちなみにうさぎマークとは、

耳の不自由な子どもも楽しめるよう配慮された玩具に表示するマークだそうです)。

こういったMUDを体験すると、「学習体験証明書」の賞状がもらえるなど、達成感を得られる工夫がなされていました。

その他、高橋正実氏デザインのMUDフェアのロゴをパソコン上で自由に配色し、その色が色覚障がい者にどのように見えているか確認できるコーナーが設けられました。

また、セミナープログラムにも登壇した静岡文化芸術大学小浜朋子教授によるスローパードの商品の見つけにくさを実験するコーナーでは、棚の後ろが白か黒かによっても商品の把握スピードが変わることを体感でき、体験した来場者から驚きの声が上がっていました。



新しい点字「ブレイルノイエ」を使った名刺作成体験



徳間貴志氏による親子ワークショップの様子

**親子で標識デザインに挑戦**

MUDフェア最終日の8月20日のセミナープログラムは、場所を移して東京ポートシティ竹芝8階ポートスタジオAスタジオで実施されました。

インフォグラフィックスを多数手掛ける株式会社ボウルグラフィックスの徳間貴志氏は、「カタチだけで伝えてみよう!」ユニバーサルな標識デザインワークショップ」というタイトルで、小中学生の親子向けワークショップを開催。多くの親子が標識の基本知识を学ぶとともに、どこに置くか、何を伝えるかを考えながら、手を動かして新しい標識のデザインに挑戦しました。ワークショップ

プの最後には実際に考えた標識のデザインを発表。ユニークな標識が披露されるたび、会場に拍手が沸きました。

### 表示物の「見つけにくさ」に着目

セミナーの2コマ目は、静岡文化芸術大学デザイン学科でユニバーサルデザインを教える小浜朋子教授による、表示物の「見つけ方」の多様性について考えるセミナーが行われました。小浜教授は「公共空間においては、表示サイズのガイドラインの充実により、個々の表示物は見やすくなっている。しかし、色鮮やかな表示が増え、本来得るべき情報の見落としが多くなっているのではないか」という観点から研究をされています。表示物の「見落とし」が起こる環境要因として、天井や壁面の輝度や表示物の多さを挙げ、聴講者も実証実験画像を熱心に見入っていました。



静岡文化芸術大学 デザイン学部教授の小浜朋子氏



小浜教授による商品の見つけにくさを体感するコーナー

続いて、「MUDは役に立つ！ ～コンペ受賞者が語るMUD活用術～」とのタイトルで、トークショー形式のセミナーが行われました。大阪市立デザイン教育研究所在学中に、メディア・ユニバーサルコンペティションの学生の部で経済産業大臣賞を受賞した安藤綾音氏（現・トヨタ自動車東日本株式会社勤務）と優秀賞を受賞した田中正太郎氏（現・ダイハツ工業株式会社デザイン部勤務）が登壇。MUD協会理事長の浦久保康裕氏が司会を務めました。

MUDコンペ受賞が就職活動に有利に働いたことや実務での活かし方を、日本を代表する企業に勤めるおふたりが率直に語りました。安藤氏が「デザイナーであればPhotoshopやIllustratorを使えばきれいなものは作れる。どうしてこのようなものを作ったのか、自分の考えを伝えることが重要。伝える力がMUDの考え方を通して培われた」と話していたことが印象的でした。

### MUDの可能性を公共調達から論じる

セミナープログラムのラストを締め括ったのは、「MUDの可能性 ～公共調達の視点から～」というタイトルで行われたパネルディスカッション。パネリストとして一般財団法人CSOネットワーク理事・事務局長の長谷川雅子氏、和歌山県印刷工業組合専務理事の白子欽也氏、MUD協会理事長の浦久保康裕氏が参加し、MUD協会理事の江森克治氏がコーディネーターを務めました。

まず、長谷川氏が公共調達の考え方の変遷を説明しました。今までは最低価格を出した事業者へ機械的に入札するのが一般的でしたが、国際社会では公共調達の判断要素に人権の尊重を含む持続可能性を取り入れるのが主流となっているそうです。日本政府もこの流れを受け、2023年4月に公共調達における人権配慮に関する政府の方針について決定を行いました。

次に「入札に参加する側」の代表として、自身も印刷会社の経営者である白子氏が、MUDを活かした公共調達の事例について解説。2011年にMUD協会和歌山支部を開設後、2012年には和歌山県海南市の海抜表示看板の作成・設置のMUD事業を受注。障害者差別解消法が施行された後の2018年には和歌山県の外郭団体である和歌山県人権啓発センターが発注する印刷物の入札参加

要件にMUD資格が求められるようになり、2022年4月からは和歌山県の印刷物受注において「ユニバーサルデザインに配慮すること」との文言が標準で記載されるようになった経緯を解説しました。

そして全印工連の副会長でもある浦久保氏が、印刷業は公共発注の割合が非常に高い業界であることに触れ、全印工連が20年前からMUDに取り組んできた中で、社会貢献と公共調達の受注を両立するため、全国的に陳情だけでなく教育面などからも後押しを進めていることを明かしました。

現在の公共調達にまつわる課題として、長谷川氏は「官公庁には公共調達を使って政策を実現できるという観点を持つてほしい」と要望しました。また、白子氏は「官公庁が『安い』という基準を捨てるのは非常に難しい。法整備が必要」、浦久保氏は「大阪府堺市では印刷物を大きくしたことで印刷コストは上昇したものの、わかりやすくなって書き損じが減り、全体としては2割のコストダウンに繋がった。エビデンスを出すのも大事だ」と語りました。最後にコーディネーターの江森氏が「これからも全印工連は市民にも行政にも事業者にも、いずれにとつても良い持続可能な公共調達について様々な活動を行っていききたいので、ご支援ご期待いただければと思います」と総括し、白熱したパネルディスカッションは終了しました。



印刷業界や公共調達に関わるメンバーによる白熱した議論

### ダイバーシティ社会で ますます注目されるMUD

障害者差別解消法の施行、外国人労働者やインバウンド観光客の増加、急速に進む超高齢化等に伴い、障がい者、外国人、高齢者など、誰もが生きやすく働きやすいダイバーシティの実現が喫緊の課題となる日本社会において、ますます注目を集めるMUD。MUDフェアに会場している方にもお話を伺いました。印刷会社で営業を担当している

という埼玉から来た男性は、「10年ほど前からMUDの概念は知っていた。会社からのアウンスでMUDフェアの開催を知り、知識をアップデートするために今回来ました。新しいMUD関連の技術を知ることができてよかったです」と話してくれました。

東京都内から来たという商業高校の教員の男性と女性は、「フジテレビの放送でMUDフェアを知り、生徒のデザインの見え方を知るために来場した。体験コーナーの小浜朋子教授による商品の見つけにくさの実験が面白かったです」とのこと。フジテレビやNHKの取材が入った影響もあり、印刷業界にとどまらず、様々な属性の方がMUDに興味を持ち来場されたことがうかがえます。

主催者であるMUD協会理事の江森克治氏は、「社会のニーズがあるからこそ会社を興すのですが、日々の業務の中ではその初心を忘れてしまいがち。社会貢献と聞くとまづボランティアを思い浮かべると思いますが、日々の仕事の中でも社会問題を解決できるということに気付いてもらえたら」とMUDフェア開催の手応えを語りました。

3日間に及ぶMUDフェアは、酷暑にもかかわらず多くの来場者を迎え、MUDが情報保障を実現できる手段であることを広くアピールできる場として、8月20日をもって盛況のうちに閉幕しました。

〈了〉

# 株式会社マルワ

本社：名古屋市天白区平針4丁目2-11番地 創業：昭和33年（設立昭和43年） 従業員：29名  
代表者：鳥原久資 認定取得：2013年6月（現在スリースター） <https://www.manuwanet.co.jp/>

## 十年を経てワンスターからスリースターへ

## 「環境といえればマルワ」と呼ばれるまでの軌跡

――まずはマルワの事業内容と強みを教えてください。

鳥原久資代表取締役社長 弊社ではチラシやカード、パンフレットなどのデザインから印刷・加工まで一貫した総合印刷を提供しております。元々、父親が文字組みで始めた会社なので、文字を主体とした印刷に強いですね。また最近では、インターネット配信事業にも注力しており、行政が主催するイベント等において、ネット配信から人材派遣、印刷物などトータルで事務局としての仕事を請け負っています。他にも近隣商店街のお店の動画撮影も担当しました。昨年社屋をリノベーションしまして、自社内に配信や講演に利用できるスタジオを設けました。

――2014年8月に発行された記念すべきSDG第1号のCSR認定企業訪問にて取材させていただいたのが貴社でした。第1号の取材から約10年が経過し、その間にCSRを取り巻く環境で特に変ったことは？

鳥原 やはりSDGsの登場が一番大きな変化ですね。SDGsは2015年9月に国連総会で採択されてスタートしましたが、弊社も2017年2月から、それまで続けてきた活動をSDGsと紐づけるようになりました。ただ、弊社としては、CSRもSDGsも意識したことは全くありません。継続して行ってきた活動に対して、CSRやSDGsという言葉が後から出てきて、世間の人たちも関心を持ってくれるようになりました。

――一番変わったのは環境配慮ですね。「名古屋で環境といえればマルワ」と認識していただけようになりました。先日も名古屋市から環境配慮の講演についてご相談いただき、今度滋賀県で講演を行うことになりました。明日も名古屋市環境局の配信を弊社から行います。

鳥原 地元愛知で行われた2005年の愛知万博では、瀬戸会場でオオタカの営業が発見されたことを契機に、環境博へとテーマがフォーカスされました。当時はまだ環境に注目した印刷会社が少なかったため、これからは環境の観点が重要になる、と注力してきた結果、業界の垣根を越えて環境配慮やSDGsの講演などと呼ばれるようになりました。

――素晴らしいですね。環境配慮以外にも貴社で行っているCSR活動について具体的に教えてください。

鳥原 会社の前にある公園の清掃は、15年前から引き続き毎朝当番制で行っています。他には名古屋ウィメンズマラソンのボランティアにも参加しています。以前と異なるのは、働き方改革の影響もあり、こういったCSR活動を完全なボランティア



長年にわたり行われている公園清掃

のインターンシップでは、マルワに來たからこそ体験できる学びを得ていただきたいと、見学・体験と課題作成の二本柱でカリキュラムを組み立てています。基本的に社員が案内や質疑応答にも対応しております。

——2013年6月にワンスター認定を取得してからステップアップを重ね、2023年には最上位のスリースター認定を取得されました。スリースター認定を目指したきっかけは？

鳥原 実は一度スリースター認定を申請したのですが、落ちてしまつて。

そのときはスリースターまで取得しなくてもいいのではないかと一旦考えました。ただコンプライアンスや社会貢献などの目標設定は、何かしらのエビデンスをとつた具体的ものがないとCSRとして片手落ちだと感じ、再度トライをしました。頭をひねつて自分たちでは通常気づかない新たな視点を得て、次のステップアップのために会社としてどうしたらよいかという思考になれるので、スリースター認定へのトライは有効だったと思います。

——スリースター認定企業は2024年2月現在、13社しか存在しません。取得する過程で特に大変だったことは？

製造課若井朋宏 ツースター認定から申請書類の作成を担当している若

井です。CSR認定の規格要求事項の中でも、自社の取り組みの有効性を自己評価しなければならぬ点が特に大変でした。計画を立てて実行することは比較的容易ですが、それぞれの取り組みがステークホルダーにとって効果的であったか、また、自社にとってどのような効果があったかについてエビデンスを取るのに苦労しました。数値で測定できるものであれば証明しやすいですが、例えば社会貢献の有効性をどのように評価するかは、この規模の会社としてはハードルが高かつたですね。



スリースター認定の書類作成を担当した若井さん

それでも、当社の場合、品質・環境・情報セキュリティのISO認証を取得していたのでCSR認定に取り組みやすい土壌はあつたように思います。また、CSRという社外へ目が向きがちになりますが、CSR認定には「雇用・労働安全」「財務・業績」への取り組みも対象になるので、会社の満足度やコンプライアンスについて無記名の社員アンケートを定期的に取りよようにして、率直な社員の声を聴いて、改善できるところは改善していく活動に役立てることもできました。

社員としての立場からだ、この点は大きいですね。

——昨年社屋の大規模リノベーションを行われたそうですが、こちらにも社員の希望が反映されているのでしょうか？

若井 リノベーションの発案自体はトップダウンで行われましたが、いざ始めるとなつた時は若手社員中心に数名でチームを組み、他社へ見学に行き、壁や床の色も含めてレイアウトを話し合いながら検討したので、社員満足度を高める活動に繋がつたと思います。

鳥原 スリースター認定の申請書類は、基本的に経営計画書として利用することができま。弊社の経営計画書は項目を二つだけ付加していますが、スリースター認定書類を元に作成されています。また、マルワの経営計画発表会は、オンラインで配信しており、多くの方に視聴していただいております。



インターネットで配信された経営計画発表会

——社員の方が主体的にCSR活動に参加できる仕組みなどは構築されていますか？

鳥原 弊社では社員参加型の委員会を作つて、そこで社員が主体的にCSRを含めた活動を行っています。なぜ委員会制度を導入したかという点、弊社では元々ISOを三つ取得してました。2006年当時、ISO9001（品質マネジメントシステム）、ISO14001（環境マネジメントシステム）、ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の三つを300人以下の中小企業で取得していたのは弊社だけでした。そのISOの運用取得に際し、品質、環境、情報の委員会を作つて、あと親睦委員会と広報委員会、合わせて五つの委員会を作つたのが始まりです。現在は広報委員会を広報部へ、ISOは普段の仕事として根付きましたので、「おもてなし向上委員会」「環境負荷低減委員会」「みらい創造委員会」のSDGsを意識した3委員会が運用しています。

月に1回、土曜日出勤の日があるのですが、そこで経営状況の数字を含めた全社会議を行つた後、委員会の活動時間を確保しています。そこで設定された各々の委員会の目標や予定が、経営計画書へ反映されるので、全社会議と委員会活動を通じて、社員たちは会社に参画しているという意識を知らず知らずのうちに持つ



月に1回行われる全社会議

ようになります。また、委員会では職種問わず社員が完全にシャッフルするので、セクシヨナリズムがなくなるのにも貢献しています。

——貴社はメディア・ユニバーサル・デザイン（MUD）にも力を入れており、MUD検定を取得した社員の方が多くいらつしやると伺いました。

### 制作部チームリーダー 額額伸太郎

MUDディレクター（旧2級）を所持している額額伸太郎（旧2級）を所する部署をまとめる傍ら、工務を担当しております。弊社にはMUDディレクターが二名おりまして、そのうちのひとりです。MUDアドバイザー（旧3級）については、社員のほぼ全員が取得しております。

——ほぼ全員の社員の方がMUD検定を取得されているとは驚異的ですね。特にMUDディレクター

の取得は難しいと聞きます。

額額 MUDアドバイザーの試験は、教科書を読み概念的なところから入って、講義を受けることにより試験をパスすることが可能ですが、ディレクター試験は実技があり、どうやったら見やすくなるのか自分で考えてディレクションしなければならぬので、そういった難しさはありますね。



MUDディレクターであり制作部をまとめる額額さん

——実際にMUD検定で学んだ知識を仕事に活かした経験はありますか？

額額 異業種交流展示会のメッセナゴヤの弊社のブースにてMUDを紹介したことがご縁となつて、介護用品の取扱説明書を製作することになり、MUDを反映した説明書を作成しております。他には、愛知県の印刷物の指針である「すべての人にやさしい情報を届けよう」視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック」の制作も担当しました。

——2024年4月から障害者差別解消法の改正法が施行され、行政機関のみならず民間事業者も、障害のある人への合理的配慮が

義務化されます。印刷物は多くの業界にとつて欠かせないものなので、こういったきめ細やかな指針が公表されていることは、他の業界にとつても非常に有益ですね。

若井 私もMUDアドバイザーを取得しております。打ち合わせの時点から見えやすさのアドバイスができるので、その点で関心を持ってもらつて採用される機会がありますね。値段以外の部分で勝負ができる手応えは感じています。弊社においてMUD検定は運転免許と同様の必須資格になつていると思います。

——貴社はブログやSNS、Youtube、累計100号を超える広報誌「Printalk」など、社外に対する発信を積極的に行い、CSRに関わる話題も多く発信されています。社長ブログは鳥原社長自ら、毎日更新されていますか？

鳥原 愛知万博が終わつた次の日、2005年9月24日から「社長ブログ」を始めました。当初土日は書くのをお休みしていたのですが、今は毎日更新しています。ブログを継続して書いていくと、マスコミの方が見つけてくださるんですよ。弊社のバナナペーパーを取り上げてくれた朝日新聞や、BCP（事業継続計画）

の取材にきたNHK名古屋やBS日テレも、私のブログを見つけたことがきっかけでした。

——社員ブログも毎日更新されていますか？

若井 社長の影響が大きいのには確かですが、社員たちもやるようになったら自然に受け入れて、やるならやろうと。弊社の社風が大きいと思います。

鳥原 社員ブログの方は、最初役席者のみが交代で書いていたのですが、今は社員みんなで担当しています。担当するペースは月1回程度ですが、社員たちはブログを書くのが結構大変みたいです。ただ、社長が毎日更新しているから社員たちも更新しないと、と思つてくれるようです。

社員たちのブログで面白いのは、書き慣れないうちは身辺雑記に留まる内容だったものが、段々と会社についての内容へと変化していく点です。特に若井が投稿する働き方についての記事は、社員ブログのなかでもアクセス数が高いですね。

SNSは会社としてはFacebookとX（旧Twitter）をやっています。SNSで発信するのは、やはりマルワを知ってもらいたいという気持ちからですね。YouTubeは社員のひとりが環境をテーマに自らやりたいと始めてくれました。ぜひチャンネル登録お願いします（笑）。





Driving Sustainability for Our Future.

**RICOH**  
imagine. change.

持続可能な社会を、ビジネスの力で。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



リコージャパンは、地域に密着した販売、サービス体制で全国のお客様に価値を提供しています。これからもお客様や地域の皆様とともに社会課題解決に貢献する新たな価値創造に挑戦しSDGsの達成に積極的に取り組んでいきます。

リコージャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-2-8 住友不動産三田ツインビル東館

## ひなんじょせつえい 避難所設営シールセット

はってはがせる

特許  
出願中

避難所を設営する場合に便利なシールやPOPがひとつにまとめられたセットです。きれいにはがせるシールのため、設営・撤収がスムーズに行えます。

### セット内容

- |  |  |
|--|--|
| <b>① スタッフシール</b><br>書き込める布製のシール<br>(内容量：30枚)                       | <b>② 立入禁止シール</b><br>危険なスペースを周知<br>(内容量：10m×5巻)   |
| <b>③ ごみ分別シール</b><br>ゴミの分別を明示<br>(内容量：29枚巻×3巻)                      | <b>④ ブランクシール</b><br>情報を自由に書き込める<br>(内容量：29枚巻×2巻) |
| <b>⑤ 案内シール</b><br>避難所の施設などを案内<br>ごみ置場、受付、トイレ、ブランクの4種<br>(内容量：計30枚) | <b>⑥ 蓄光シール</b><br>暗い場所での誘導用<br>(内容量：48枚)         |



ご高齢の方や色覚障がい者の方も見やすいデザイン!

油性ペンを追加!

避難施設でのご意見を元に作成しました!

#### 販売元

内閣府認証 特定非営利活動法人

メディア・ユニバーサル・デザイン協会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8  
日本印刷会館4F 全日本印刷工業組合連合会内  
TEL 03-3552-3454 / FAX 03-3552-7727  
e-mail info@media-ud.org



詳しくはこちらへ

#### 製造元



OSP 大阪シーリング印刷株式会社

【東京営業部】 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 4F TEL (03)-3248-1759(代)  
【大阪営業部】 大阪府大阪市天王寺区味原町13-21 OSP味原ビル TEL (06)-6763-6771(代)  
【名古屋営業部】 愛知県名古屋市中村区太閤 3-1-18 名古屋KSビル5F TEL (052)-451-1561(代)  
【営業拠点】 札幌・東北・北日本・福島・西東京・群馬・長野・さいたま・新潟・千葉・横浜・静岡・浜松・岐阜・京都・金沢・新大阪・南大阪・神戸・広島・岡山・米子・四国・松山・高知・福岡・北九州・熊本・鹿児島・沖縄



HPはこちらへ

## 厚生労働省、育児休業の 目標設定・公表を義務化

厚生労働省による次世代育成支援対策推進法の改正案が通常国会に提出された。成立すれば2025年4月1日から施行される見込み。従業員100人超の企業に男性を含む育児休業の取得率の数値目標の設定・公表を事業主に義務付ける。男性の育児参加で子育てをしやすい体制づくりを企業に促す。計画を作らない、あるいは公表しない企業には、厚生労働省が勧告し是正を求める。ただし、目標の水準は企業が自由に決める。従業員100人以下の企業は努力義務とする。

男性の育児の取得率は2022年度に17.1%だった。2012年度の1.9%からは大きく上昇したが、女性の80.2%には遠く及ばない。2021年度の取得期間で見ても男性は51.5%が2週間未満で、95.3%が6ヵ月以上取得する女性に比べると短い。改正案ではそのほか、育児の取得状況の公表義務の対象を、常時雇用する労働者数が300人超の事業主に拡大する。2023年4月から1000人超の企業に年1回の実績値の公表が義務付けられている。

## 京大、26年度から理工系に 女子枠

京都大学は、2026年度入試から、書類審査と面接、大学入学共通テストの成績などにより判定する「特色入試」の枠組みを使い、理学部と工学部で女性のみが出願できる枠を設けると3月21日に発表した。理学部は15人、工学部は24人を男性とは別に募集する。

京大では23年5月時点で、学士課程の学生は理学部で計1411人のうち女性は約8%、工学部は計4178人のうち約10%にとどまっている。東大や名古屋大などに比べても低い水準で、男女比の改善を目指す。一般入試も含めた女性志願者数の増加も期待する。湊長博総長は「適切なジェンダーバランスは国際的な研究大学として必須。女性に挑戦する機会、研究へのアクセスを許容してこなかった社会背景は大きい」と話す。

## 第17回MUDCONペティション で大阪シーリング印刷が 経済産業大臣賞

全日本印刷工業組合連合会が主催する第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティションで、応募総数254点の中から14

点（一般6点、学生8点）が受賞した。一般の部の経済産業大臣賞は大阪シーリング印刷の「現在地住所を案内するサイン ココ！サイン」。表彰式は2月14日に都内で行われた。

同社の作品は、緊急時や道に迷った時などに正確な現在地を知りたい人に対して、それを分かりやすく伝える案内サインを開発、提案した。全国清涼飲料連合会は警察や消防と連携し、2005年から自動販売機に住所表示ステッカーを貼付する活動を展開してきたが、貼られていてもあまり目立たず、認知度も低い。そこで新たに、一目で分かる現在地住所の案内サインをデザインと色の工夫で作製した。

審査委員からは「小さなシート1枚で伝えられることの大きな可能性を感じる。印刷業界として、実現に向けて自治体と連動して取り組んでほしい」と期待された。

## 日本WPA、カーボンオフセット 量の累計が1万トンを超える

一般社団法人日本WPA（日本水なし印刷協会）は、印刷物の製作時に排出する二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を実質ゼロにするカーボンオフセット事業を2009年2月に

開始した。そして、2024年3月に事業開始からの総オフセット量が1万トンに達した。事業に参加する会員企業は現在50社で、年々参加数が増えている。1万トンとは、50歳の杉の木（建築材として活用可能な樹齢）71万本が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に相当する。

日本WPAでは、独自のCO<sub>2</sub>排出量算出ソフトウェアを提供しており、会員は無償で利用できる。同ソフトは水なし印刷だけでなく、デジタル印刷、水あり印刷にも対応している。

日本WPAを通じて購入できるクレジット（排出権）には、東日本大震災復興支援クレジット、能登半島地震復興支援クレジット、びわ湖カーボンクレジット、再エネ／省エネ由来クレジットなどがある。

## 武田薬品、二次包装の印刷を 特色からCMYKインキに

武田薬品工業は、国内で製造する製品の二次包装（組箱）の印刷における環境負荷低減を目的に、使用するインキを特色インキからCMYKインキに切り替えていくことを決めた。今後、2026年までに新製品・既存品を問わず、

国内で製造する同社製品のすべての二次包装をCMYKインキに切り替える予定。また、同社がグローバルで進める環境負荷低減を目指した取り組みにおける第一段階となり、日本以外でも今後展開していく予定。

日本の医療用医薬品業界では、製品の二次包装は特色インキによる印刷がスタンダードとなっている。これをCMYKの4色に切り替えることにより、使用するインキの種類や使用量・廃棄量の低減とともに、製品を切り替える際の印刷機洗浄おける溶剤の使用量・廃棄量の削減につながる。

### ロフト、有料買い物袋を紙製に全面切り替え

ロフトは、3月1日から全店（国内157店舗）で、すべてのポリエチレン製の有料買い物袋（シヨップパー）5種類を廃止し、紙製の袋に切り替えた。脱プラスチックの視点による取り組み。

ロフト全店でのポリエチレン製の買い物袋5種の2023年の年間使用枚数は約600万枚あった。これを新たに紙製袋5種類（FSC認証・ボタニカルインキ仕様）に切り替えた。各33円（税込）。また、有料のギフトポリ袋については、リサイクル不織布（GRS認

証）を使った新ギフト袋7種類に切り替える。

### スーパー大手など非正規待遇の改善進める

イオンは、2024年度からグループ40社で、パート社員の待遇を同じ業務を手がける正社員と同等にする制度を順次導入する。ライフコーポレーションも、勤務する地域や店舗を絞った社員の種別を廃止し、正社員と同じ待遇とした。ヤオコーは、有給扱いの配偶者出産休暇の対象をパート社員にも拡大した。食品スーパーなど小売業で非正規労働者の待遇改善が進んでいる。

全国スーパーマーケット協会によると、スーパーの店頭などで働く従業員のうち、パートやアルバイトを含む非正規の割合は2023年で約7割を占めている。

### 大日本印刷、オンライン障がい者コミュニティを社内開設

大日本印刷は、グループ社員のだれもがオンライン上で参加できる障がい者コミュニティ「ほっとワーク」を2月28日に開設した。障がいのある社員や、障がいのある家族を持つ社員が働く上での安

心感を高め、障がいの有無にかかわらず、それぞれの個性や能力、考え方を認め合い、活躍できる職場づくりを進めていく。

「ほっとワーク」は、困り事や悩みを互いに打ち明け相談できるネットワーク、互いが打ち解け合える、安心して参加できるネットワークとして機能する。社員は障がいに関心を持ち、理解を深めながら、相互の情報交換や雑談など、さまざまなテーマでコミュニケーションが可能。3月25日現在、145名が参加しており、職種や部門を越えたコミュニケーションにつながっている。

また、グループ全体のダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを促進するD&I推進室では、障がい者インクルージョンの推進に向けて、グループ内の他部門を兼務できる社内複業制度を利用し、障がいのある社員の当事者視点を取り入れた施策を進めている。

### 奥村印刷、折り紙食器で能登半島地震の被災者支援

奥村印刷（東京都北区）は、元日に発生した能登半島地震に対する支援として、折り紙食器「beak（ビーク）」を被災地に提供した。石川県健康福祉部の要請を

受け、1月11日に1万シートを発送した。

beakは、A4サイズの紙から折り紙のように組み立てられ、スプーンとフォーク付きの皿、丼、カップの型を切り離して折るだけで簡単に作れる。耐水・耐熱・耐油ペーパーを採用しているため、温かい汁物やカレーなどあらゆる料理に使うことができる。奥村印刷が防災備蓄品として開発し、2022年12月から製造。国内特許を取得済みで、一般社団法人防災安全協会の「防災製品等推奨品」にも指定されている。

山田秀生取締役常務執行役員は「平たいA4の紙のまま保管でき、置き場所に困らない。1000人分の食器もわずか45cmの厚さで収納できるなど、大量備蓄、搬送性に優れている。市販の紙皿や紙コップなどは潰れると使えなくなるが、beakはたとえ紙が折れ曲がっても組み立てれば遜色なく使用できる」と話す。

震災などの被災地では、配布用の食器が足りずに炊き出しを断わることや、一部の人だけに温かい食事を出すトラブルの原因になるため、やむなく冷たいおにぎりやパンしか配れないといったことが起こる。beakはそれを解決する。

# CSRに取り組むお客様の 印刷製品づくりを応援する それがCSRマークです。

CSRに取り組む印刷会社に仕事を頼みたい。  
印刷製品にCSRに取り組んでいる**マーク**をつけ  
たい。

でも、どこに発注すればよいかわからない。

そんな要望にお応えするのが

**CSRマーク**です。

**CSRマーク**は、印刷業界のCSR基準を達成した印刷会社がつけることができる信頼のマーク  
です。

## 〈特徴〉

- 公正で信頼できる制度
- CSR研究の第一人者である横浜市立大学の影山教授監修のもと設計された基準を達成した印刷会社を客観的に審査
- 横浜市立大学CSRセンターが審査を実施し外部の有識者で構成される認定委員会で判定
- 基準はすべてホームページで公開
- 認定企業に発注すれば、無料でCSRマークの使用が可能
- CSRマークは印刷会社のCSRの取り組み度合いにより3種類
- 認定番号管理により社会的信頼性を確保

## ■問い合わせ先

全日本印刷工業組合連合会CSR認定事務局  
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8  
TEL.03-3552-4571 FAX.03-3552-7727

<http://www.aj-pia.or.jp/>



印刷製品へのCSRマーク表示例

## 認定企業一覧 (2024年4月現在)

スリースター認定 (13社)			
宮城	株式会社ユーメディア	愛知	新日本印刷株式会社
福島	株式会社日進堂印刷所		株式会社マルフ
千葉	株式会社太陽堂印刷所	石川	株式会社笠間製本印刷
神奈川	株式会社コロラボ	滋賀	アインス株式会社
	株式会社大川印刷	広島	ユニバーサルポストグループ
東京	六三グループ	福岡	株式会社博多印刷
		熊本	株式会社啓文社
トゥースター認定 (11社)			
神奈川	株式会社野毛印刷社	大阪	株式会社義生社
長野	株式会社亜細亜印刷	広島	株式会社ニシキプリント
東京	文唱堂印刷株式会社	香川	株式会社ミヤプロ
	株式会社ソウブン・ドットコム	愛媛	愛和印刷株式会社
京都	南アドバンク	福岡	株式会社ミドリ印刷
			株式会社丸信
ワンスター認定 (116社)			
北海道	株式会社ヒロミ産業	三重	伊藤印刷株式会社
	株式会社アイテックサプライ		株式会社岐阜文芸社
	株式会社正文舎	岐阜	ヨツハシ株式会社
	北陽ビジネスフォーム株式会社		協同印刷株式会社
宮城	株式会社ホクラミ	富山	第一共同印刷株式会社
	株式会社東北プリント		朝日印刷株式会社
秋田	株式会社秋田印刷製本		株式会社ニッポー
	株式会社東海林印刷	石川	ヨシダ印刷株式会社
株式会社青葉堂印刷			株式会社タイトクコーポレーション
山形	株式会社精英堂印刷		株式会社山越
	株式会社藤庄印刷	京都	株式会社大洋堂
株式会社銀星社印刷所			株式会社ムーブ
茨城	大富印刷株式会社		株式会社やまとカーボン社
栃木	足利印刷株式会社		相互印刷株式会社
	株式会社井上総合印刷		相互ビジネスフォーム株式会社
埼玉	株式会社アサヒコミュニケーションズ		株式会社ソーエイ
千葉	株式会社弘報社		株式会社一心社
	株式会社第一印刷所		レスター工業株式会社
新潟	株式会社プレスメディア	大阪	株式会社サンエスタイプ印刷
	株式会社相互印刷		鈴木美術印刷株式会社
静岡	日本レーベル印刷株式会社		トキワ印刷株式会社
	株式会社中央パッケージジング		岡本印刷株式会社
東京	池田印刷株式会社		阪本印刷株式会社
	株式会社賢工製版		株式会社新聞印刷
	システム印刷株式会社		大興印刷株式会社
	株式会社ウエマツ		赤木印刷株式会社
	株式会社白橋		船場印刷株式会社
	株式会社アドピア		丸山印刷株式会社
	荏原印刷株式会社		兵田印刷工業株式会社
	株式会社壮光舎印刷		大和出版印刷株式会社
	株式会社弘和印刷		株式会社天理時報社
	滝澤新聞印刷株式会社		株式会社アイプリコム
	株式会社木元省美堂		共同精版印刷株式会社
	株式会社TONEGAWA		株式会社明新社
株式会社エス・ワイ・エス	和歌山	株式会社マージネット	
広研印刷株式会社		白光印刷株式会社	
株式会社太陽堂封筒	岡山	コーホク印刷株式会社	
株式会社プライズコミュニケーション	広島	株式会社中本本店	
株式会社光邦		株式会社瀬戸内海印刷	
音羽印刷株式会社	愛媛	株式会社ポップジャパン	
株式会社ナカニワ印刷		株式会社アドブックス	
株式会社研文社	福岡	株式会社明朗社	
株式会社美創		西日本ビジネス印刷株式会社	
株式会社オフセット岩村		アド印刷株式会社	
株式会社エイジ		築上印刷株式会社	
株式会社久栄社		株式会社伸和	
東京平版株式会社		泰平印刷株式会社	
セントラル印刷株式会社		井上紙工印刷株式会社	
第一資料印刷株式会社		ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社	
株式会社共栄メディア	熊本	株式会社池田紙器工業	
山口証券印刷グループ		株式会社九州クラフト工業	
株式会社ザ・デジタルソリューションズ	宮崎	ホープ印刷株式会社	
木野瀬印刷株式会社		株式会社文昌堂	
半田中央印刷株式会社	鹿児島	株式会社鹿児島新生社印刷	
豊橋合同印刷株式会社		株式会社新生社印刷	
株式会社愛知印刷工業	組合員外	佐藤印刷株式会社	
株式会社荒川印刷			
大信印刷株式会社			
株式会社クイックス			
サクラグループ			

※都道府県内は認定番号順